

平成27年度実施プログラム参加者アンケートの主な意見・感想

感想・意見

《実施者と受講生との交流》

- ・ 講義や実験、先生・大学生や他の高校生との交流を通して科学に興味があった。
- ・ 講義では、知らないことをたくさん知ることができ、実際にタンパク質を作ってみたときも、アシスタントの大学生がわかりやすく、丁寧に教えて下さったので、とても楽しかった。
- ・ 専門的なこともあり、少し難しいとも感じましたが、親しみやすい内容もあったのでとても楽しく、実践できたのが嬉しかった。また、お昼に様々な方とたのしく交流・おしゃべりができ、とても良かった。次も参加したいと思いました。
- ・ 講義と実習の両方あって退屈しなかった。昼休みやティータイムに大学生と話せてキャンパスライフについても知ることが出来たので良かった。
- ・ ブラックホールのことだけでなく、大学の先生方や生徒の皆さんで交流できるような機会を多く催してくれてとても良い体験になった。

《参加者の募集について》

- ・ 小学生の間から大学の研究に触れることができるなんて、恵まれています。HPで偶然見つけた事業だったのですが、もっと広報されても良いのではないのでしょうか。今回も参加者がそれほど多くないのがもったいなく感じました。
- ・ 予想よりも楽しく有意義な時間を過ごすことができた。自分は、ロボット工学に興味があったので、プログラミングの経験は今後とも役立たせていただきたいと思う。
- ・ 実施されている事を知らない場合が多いので、もう少し宣伝してもらえると助かります。

《将来・研究者について》

- ・ 新しい機械などを見ることができよかった。実習も本格的で将来の目標を持つことが出来た。違う高校の人と交流ができて良い刺激になった。
- ・ 今回お話を聞いて、実際にモンゴルやベトナムに行き、交流したいと思った。高校生が現地に行っていることは少ないと思うが、何かできることがあるとわかったので、是非行きたいと思う。
- ・ 大学でどのように研究をしているのか、どのような研究をしているのかあまり知る機会がなかったので、いい機会になりました。実験は学校ではあまりしないので、とても楽しかったです。この経験を進路やこれからに生かしていきたいです。
- ・ 学校ではあまり実験はしないが今日のように学校でもできる実験を体験できたことは、未来につながっていくと思う。大学の研究が(ネオビブサニン等)実際に医療の発達に貢献しようとしていることを知り、すごいと思った。私も社会貢献出来る科学者になりたい。
- ・ 元々、工学系の分野に進みたいと考えていたのですが、特に数学が苦手で、進路の選択に迷っていました。前半の統計学、後半のプログラミング又SEは半分以上が文系だというお話を聞いて、夢を諦めず頑張ろうと思うことができました。
- ・ 薬剤師か研究者かどちらがいいかと思っていたときに研究者について知ることができ、将来の一つの指標ができました。これからしっかり勉強したいと思います。

《内容について》

- ・ 普段使っているものがどのようにできているかなどがわかり、さらにいろいろなものの成分などを知りたいと思った。さらにカフェインは液体だと思っていたが固体であるのを知ってとても興味深く思った。
- ・ 糖尿病など病気を治す成分が植物から得られていると知り、びっくりした。
- ・ 本がもともと好きでしたが、古い本の保存については今日、初めて知りました！ニュートンや、いろいろ有名な人の著書があり、驚きました！また参加したいです。

平成27年度実施プログラム参加者アンケートの主な意見・感想

感想・意見

- ・ 保護者と子どもの接触をできるだけしないようにというのはとてもいいことと思います。子供が自分で考えることが必要に共感しました。子供のことをよく考えていることが強く感じるプログラム内容でした。(保護者)
- ・ 実際にマウスを使って実験するととてもいい機会でした。インスリンなどのホルモンが体にどのような働きを与えているのかがよく分かり、前よりも興味が湧きました、またこの様な企画があったら参加してみたいです。
- ・ スーパーカミオカンデやXMASSの内容は聞いたことはあったが、詳しくは知らなかったのでとても勉強になりました。これからも積極的に科学について勉強していこうと思いました。
- ・ 東日本大震災があったとき、ニュースを見て放射能とか放射線とかいう言葉を聞くようになって、放射能って何だろうと疑問に思っていたのですが、このプログラムを通して、身近にもあるということや、実際に見て様々な形のものがあるんだと気づいたことがたくさんありました。
- ・ 話が専門的で難しかった。もう少し分かりやすい言葉で話してもらいたかった。血液検査の仕方やDNAの判定は良い経験になった。
- ・ 指導していただく方々が一般的な高校生の知識がどの程度あるのか、十分に理解されていないように感じました。高校1年生の多くは、「生物基礎」を習っているので、その教科書を参考に、この事は知っていてこの事は知らないと分かったうえで指導していただくとありがたいです。
- ・ 科学(生物、工学といった理系)ではなく文系科目の講座があったことに驚いた。できればそのようなものもより増やしてほしい。
- ・ ディスカッションタイムをもう少し長めにとっていただけると有り難いです。様々な器具の練習(多種類)&その説明があると、もっと面白いと思います。

平成27年度実施プログラム実施者アンケートの主な意見・感想

感想・意見

《募集方法・広報について》

- ・ 高校への電話での案内、知り合いからの口コミが最も効果があったと思われる。
- ・ 対象となる学校へ、実施者が直接出向いて広報を行うのは、効率が悪いと感じられた。
- ・ 高校の先生に薦められて参加した高校生が多かった気がしました。高校の先生にも本事業を理解できるような広報ができると良いと思います。また、数年間の単位で本事業を継続して実施することで、本事業が一部の学校だけでなく全体的に浸透していくと思います。
- ・ 受講決定後のキャンセルが多く、定員超過により受講制限をしているだけに、受講者として決定した方のキャンセルが相次いだのは残念です。申込フォームに、「ご自身の予定をよく確認してから申し込んでください。」のような注意が必要と感じました。
- ・ 生徒さんからは、親がHPを見てプログラムに応募するケースが多いと聞いた。親を介さず直接生徒さんに知ってもらうことが今後の課題だと感じた。
- ・ 科学の関心を高めるため、事業をもっと幅広い学年(小学校3-4年など)対象で展開できると良い。
- ・ ひらめき☆ときめきサイエンスのHPの二次元バーコードを作って欲しい。これをチラシに印刷しておけばスマホからすぐにHPを見られるので効果的だと思う。

《プログラム実施・内容について》

- ・ プログラムへの参加だけではなく、学生食堂でご飯を食べたり、大教室をのぞいてみたり、親子で大学の環境を身近に感じることでできる良い機会だと思います。高校生は大学の校内に入る機会があっても、小学生にとっては未知の世界。ひらめきときめきサイエンスの対象者が小学生まで広がったことはとても良いことだと思います。
- ・ 運営側としては大変な苦勞を伴うが、受講生の喜びの声を聞くと、その苦勞が吹き飛んでしまう。大学の研究者が何を研究しているのか、補助金がどのように使われているか具現化するにあたって、最高の体験プログラムであると思う。
- ・ 多様な企画にチャンスを与えて下さるとよいと思います。(毎年同じ企画でない方がよいかと)
- ・ 本事業ではプログラムを毎年継続することが社会に対する発信と人材育成両面から重要であると考えられるので、単年度ごとの応募ではなく3年程度1度の応募で支援していただくと手続きの負担もへり、2年目以降へのフィードバックもやりやすい

《経費について》

- ・ 科研費のさらなる充実は当然必要ですが、「ひらめき☆ときめき」によって研究成果を次世代にわかりやすく伝えることは今後のわが国の科学を発展させるために有効なことだと考えます。児童・生徒は毎年楽しみにしているため、大型研究費拡充のあおりを食って予算が減らされるといったことがないよう期待しています。
- ・ 子ども達に科学を知る・経験する良いチャンスであるので、受講チャンスを増やすためにも予算を増やすか減額しないでほしい。
- ・ 本活動は昨今の理系離れを解消する大変良い事業だと思います。一方で十分な活動をするためには予算が不足していることも事実です。担当教員の負担も考えて、件数の絞り込みや予算の拡充をお願い出来ればと思います。

《その他》

- ・ 昼食やクッキーの成分中にアレルギーが含まれていることがあります。その注意を事前にした方がよいと思います。
- ・ パンフ・袋等を毎年デザインを変える必要性を感じません。
- ・ 日本学術振興会の研究員の方の派遣は刺激的でした。今後も厚い支援をお願いいたします。
- ・ 他のひらめき☆ときめきに参加見学したい。(他の教員がどのように指導しているのか興味がある)